

花や緑楽しみストレス緩和

盛岡で園芸 療法研修会 講義やポプリ作り

園芸療法によるスト

面が大切と指摘。

レスマネジメント研修

ストレス緩和のため

会(県立大看護学部環境・保健看護学講座主催)

は、盛岡市の県立大アイーナキャンパス

で養護教諭ら約30人の参加でこのほど開かれた。

「花や緑を楽しむことはストレス緩和になります。みんなで作業をすることで仲間意識を高めるためには認知行動療法」

で有効なのが園芸療法だ。

兵庫県立大大学院緑環境マネジメント科講師の天野玉記さん(臨床心理士)が「震災後心とくらしの回復に向けて」と題し講義。コップの中の水を例えに、コップから水(ストレス)をあふれさせないためには△水を減らす(ストレスを緩和する)▽コップを大きくする(ストレス耐性を高める)――という両

香りを楽しみながらタマゴのボ



の布やリボンで飾る。その香り、完成品のかわいらしさ、共に作る樂しさが、園芸療法の効用を物語った。

翌日、陸前高田市の高田一中仮設住宅集会所で「虹色の種サロン」日和になった。「久々

茶話会で癒やしのひととき。「気持ちが小春七世津子さんを講師に約30人がハーブの手浴、フラワー・アレンジ、

を開催。花巻市東和町の園芸療法実践会グローバル」と好評だった。サ

ロンは今後も継続開催する予定だ。